

令和5年度土砂・風水害対応訓練実施結果について

広域応援室

消防庁では、近年多発化、大規模化する土砂・風水害に対する緊急消防援助隊の災害対応能力の向上を図るため、福島県及び岡山県において地図画像作成機能付きハイスペックドローン（以下、ドローンという。）と小型水陸両用バギーの連携を目的とした訓練を実施しました。

近年においては、「令和2年7月豪雨」や「熱海市土石流災害」など、大規模な土砂・風水害が頻発しており、これらの災害に的確に対応するためには、より一層の高度な救助活動能力が求められます。

しかし、ドローンや土砂・風水害に対応する特殊車両・資機材等については、配備からの経過年数が浅い上、配備消防本部における活用現場が限定的であることから、ドローンによる情報収集活動と土砂・風水害の救助活動を連携させた、より実践的な訓練が求められていました。

よって本訓練により、参加消防本部の土砂・風水害対応能力の向上を図ることに加え、本訓練結果により得た情報収集の重要性や活用方法等の知見を集約し、各消防本部に発信することにより、緊急消防援助隊全体の更なる土砂・風水害対応能力の強化を図ります。



小型水陸両用バギー走行訓練

1. 実施日

- (1) 福島会場
令和5年5月25日（木）、26日（金）
- (2) 岡山会場
令和5年6月8日（木）、9日（金）

2. 実施場所

- (1) 福島会場
福島ロボットテストフィールド
- (2) 岡山会場
 - ア 岡山ふれあいセンター
 - イ 岡山市消防教育訓練センター

3. 参加消防本部(参観除く)

- (1) 福島会場
29消防本部 73名
- (2) 岡山会場
37消防本部 107名



小型水陸両用バギーウインチ取扱い訓練



ドローン操作訓練

4. 主な訓練内容

- (1) 講義
 - ア 小型水陸両用バギーの機装進展と事故事例
 - イ 小型水陸両用バギーのメンテナンス及びトラブルシューティング
 - ウ 土砂災害の基礎とドローン利活用事例
 - エ 飛行計画・オルソ画像作成等について

- (2) ドローン
 - ア 基本操作訓練
 - イ 応用操作訓練
- (3) 小型水陸両用バギー
 - ア 陸上走行訓練
 - イ 水上走行訓練
 - ウ 泥濘地走行訓練
 - エ ウインチ取扱い訓練
 - オ 災害現場想定走行訓練
- (4) 土砂・風水害対応展示及び想定訓練

助救出訓練を通じて、土砂・風水害対応能力の強化を図ることができました。

消防庁では、本訓練の成果と課題を、今秋実施予定の緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練に反映させることで、継続した緊急消防援助隊の土砂・風水害対応力の一層の強化に努めていきます。

最後になりますが、本訓練の計画や実施に対し、多大なご協力を賜りました福島ロボットテストフィールド及び岡山市消防局の皆さまへ心より感謝申し上げます。



小型水陸両用バギー走行訓練



訓練終了後に記念撮影



ドローン操作訓練

お問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7569 (直通)

5. おわりに

小型水陸両用バギーは極めて特殊な車両であり、効果的・効率的な訓練方法のノウハウの蓄積も少なく、全国的に見ても訓練施設の確保が大変困難となっています。

また、ドローンは、基本的な操作、性能の把握、オルソ画像の作成等、習得が必要な技術も多岐にわたるため、適切な指導下での訓練が必須となっています。

このような状況の中、本訓練には全国から計180名もの緊急消防援助隊員が集結し、両会場とも2日間にわたり、小型水陸両用バギーとドローンの基礎的な知識や技術を習得するとともに、指揮活動を含めた実践的な救